

第2学年英語科学習指導案

1 単元名 What do you want?

2 単元について

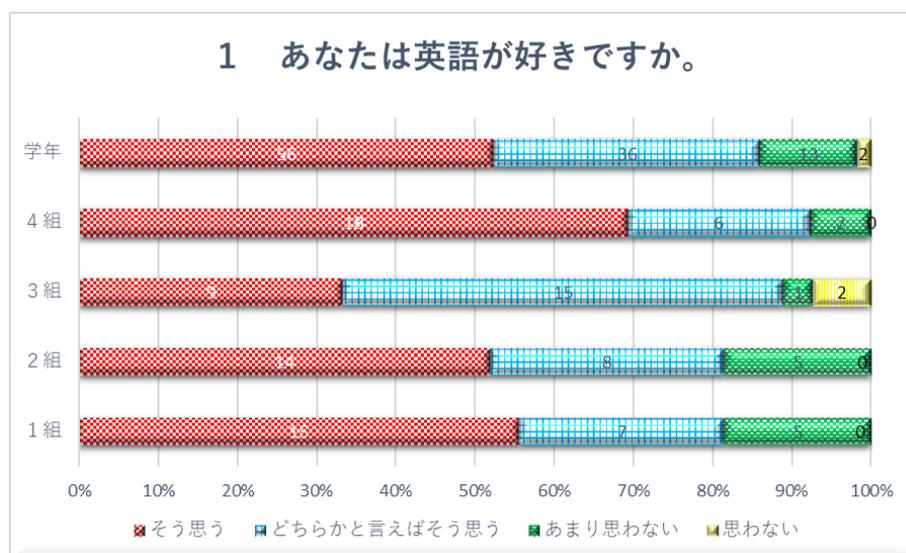
本単元「What do you want?」は、食材の名前や食べ物の英語での言い方に慣れ親しみ、食べたい物や欲しい物を尋ねたり答えたりしながら、自分たちが考える「夢の Golden lunch menu」を作る活動を通して、友達や先生とコミュニケーションを図ることをねらいとしている。

1年生や1学期に扱った「I like ～.」でも、野菜や果物に関する単語を扱っているため、児童はある程度の言い方を習得している。また、食べ物の名前は、日常的に耳にすることも多いため、抵抗感なく活動することができると考えられる。

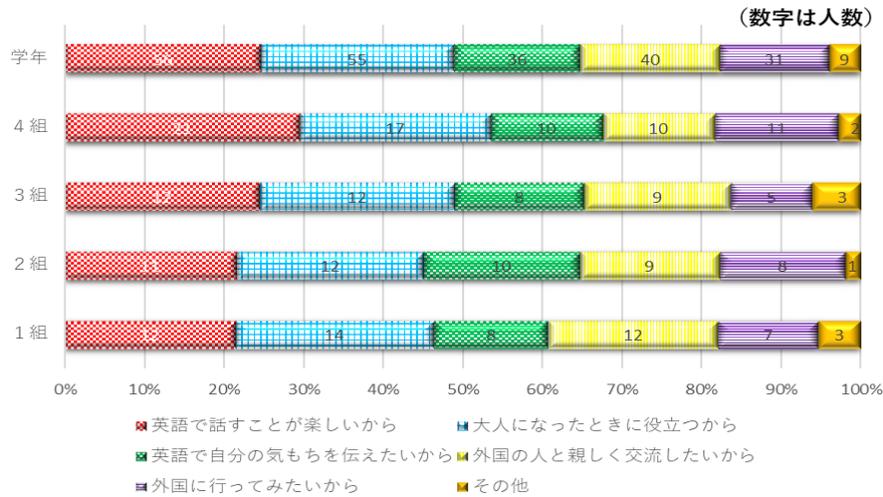
本単元ゴールの活動では、自分たちが考えたオリジナルの給食メニューを紹介する活動を設定している。そのメニューを作るために必要な材料を、「What do you want?」を用いて尋ねたり答えたりする活動を行う。選ばれたメニューは、実際の給食で出されるため、児童も意欲をもって活動することができると考えられる。また、メニューを考える際に、「炭水化物」「タンパク質」「ビタミン」など、栄養素についても簡単に触れることで、普段の給食が栄養バランスを考えて作られていることを知り、給食への関心を深めることにもつなげていきたい。

3 児童の実態について

図1の結果から8割以上の児童が「英語が好き」もしくは「どちらかといえば好き」と回答している。英語が好きな1番の理由としては「英語で話すことが楽しいから」が学年の約4分の1と最も多かった。図2より、英語が好きな理由として授業で学んだことを生かすことができる「自分の気持ちを伝えたい」や「外国の人と親しく交流したい」といった項目の割合がやや高い傾向にある。また、「英語で話すことが楽しいから」と活動自体に楽しさを感じているだけでなく、「大人になった時に役に立つから」のように、これから先も使っていく言葉という認識を持っている児童も多くいることがわかる。図3から、好きではないと回答した児童のうち、多かった理由が「英語の発音が難しいから」、「英語が覚えられないから」だった。このことから、日本語と異なる英語の発音や聞きなれない英語を覚えることについて苦手意識を持っている児童が多い傾向にあるといえる。



2 好きな理由は何ですか。



3 好きではない理由は何ですか。

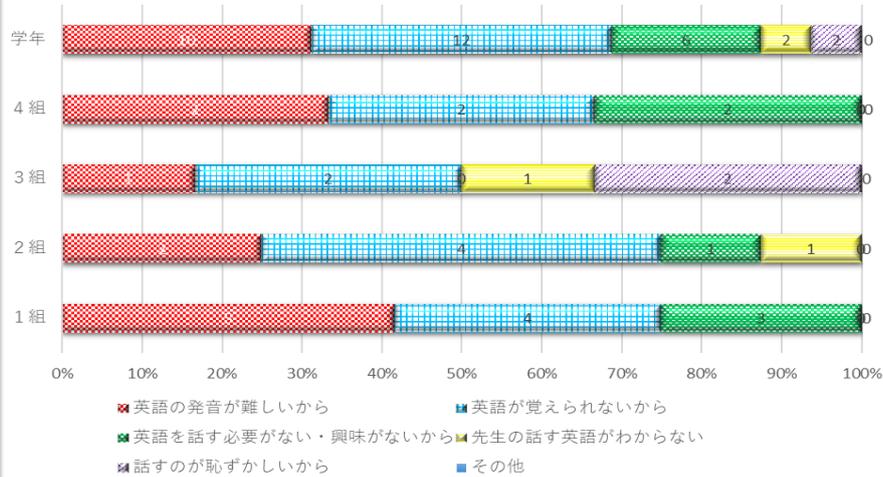
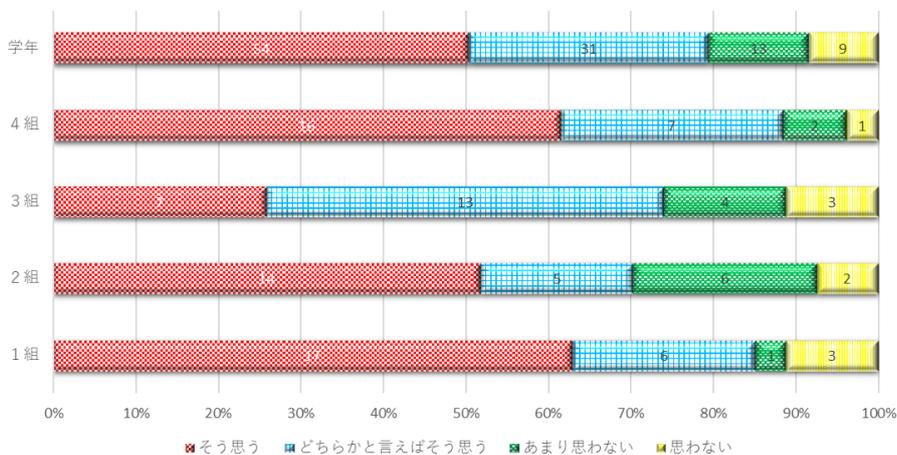


図5より「習ったことを使って相手に思いを伝えようとする」児童の割合が高い傾向にある。このことから、授業では自己紹介やペア活動、グループ活動といった活動を多く取り入れていくことで進んで相手に思いを伝えようとする児童を増やすことにつながっていくのではないかと考える。

5 習ったことを使って相手に思いを伝えようとしていますか。



4 研究主題、仮説及び手立て

(1) 研究主題

自ら学び、進んで考えや気持ちを伝え合うことができる児童の育成

(2) 研究仮説

「言語活動を通して」コミュニケーションを図る指導と、目標と対応した評価の一体化を実現することで考えや気持ちを伝え合う力を育むことができ、自ら学ぶことができる児童を育成することができるであろう。

(3) 手立て

手立て1 「言語活動を通して」資質・能力を育成する指導の工夫

- ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定
- ②効果的な Small Talk の工夫
- ③言語活動を通して「聞く」「話す」「読む」「書く」指導の工夫
- ④児童に意欲と自信をもたせる教師の働きかけの工夫
- ⑤それぞれの学習場面に応じて効果的な I C T 活用

手立て2 目標と指導と評価の一体化を図る工夫

- ①目標に対応した評価規準の明確化
- ②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫
- ③児童の学習改善、教師の指導改善に生かすことができる I C T 活用

(4) 本単元での重点取組

1 - ①児童にとって魅力的な目的、場面、状況の設定

本単元では、「夢の Golden lunch menu を作ろう！」というゴールを設定した。本校は自校給食で、児童も毎日の給食を楽しみにしている。「こんなメニューが、給食で出たら嬉しいな」という児童の思いを実現することができるゴールの設定は、児童にとって魅力的なものになると考えた。このゴールにつながる「What do you want?」の活動も、進んで気持ちや考えを伝え合うことができるようにしたい。

1 - ⑤それぞれの学習場面において効果的な I C T 活用

自分だけの「夢の Golden lunch menu」を思い描きやすいよう、実際の料理や給食の写真、または材料の写真を用意する。頭の中に映像化することで、メニュー全体のバランスもイメージしやすいようにする。

ゲームの場面では、オクリンクのモニター画面を使用し、教師にとっては児童全体の学習の様子や進捗を確認したり、児童にとっては他の児童のやり方や解答を参考に自分の考えを深めたりすることができるようにする。

2 - ②指導と評価に生かすことができる学習カード、振り返りカードの工夫

その時間にできるようになったことやわかったこと、あるいは「Today's point」に対する成果について、毎時間振り返りの機会を簡易的に設定することで、短い時間で次時の学習への意欲へつなげると考える。ただし、単元の最後は時間を取り、記述による自己評価をすることで、自身の次の課題を発見したり、学習の成果を実感したりできるようにする。

Unit 6- What do you want? ♪ 何がほしい? ♪	☆ほしいものをつたえたり、聞いたりする。 ♪	◎ ♪ ○ ♪ △ ♪	----- ♪ ----- ♪ ----- ♪ ----- ♪
What do you want? ♪ (I want) ○○ ♪			

5 単元の目標

「夢の Golden lunch menu」を作るために、「What do you want?」の表現に慣れ親しむとともに、野菜や身近な食べ物についての話を聞いている。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと 第3, 6時【主】 第4時【知・技】 第5時 【思・判・表】	欲しい食べ物について、「What do you want?」を用いた表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	「夢の Golden lunch menu」を作るために欲しい食べ物について、話を聞いて意味が分かっている。	欲しい食べ物について、話を聞いて、意味を分かろうとしている。

7 単元計画（8時間扱い 15分×15回 45分×3回）

		内容 C:Child A:ALT H:HRT T:HRT or ALT	評価規準
第1時	E-タイム 1/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ・動画でアニメーションと共に聞かせる。 ・繰り返し聞かせて慣れ親しませる。 ○身近な食材の英語での言い方① ・お店のイラストを見せ、そこにある食材の名前を確認していく。 ・普段使う言い方が英語と同じであることや、日本語と英語で異なることに触れる。	○単元の導入期のため、記録に残す評価は行わない。
	E-タイム 2/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ・無理のない範囲で歌うよう促す。 ・ゆっくり→普通と速さを変え、目標表現や単語の音をしっかりと聞くことができるようにする。 ○身近な食材の英語での言い方② ・お店のイラストを見せ、そこにある食材の名前を確認していく。 ・普段使う言い方が英語と同じであることや、日本語と英語で異なることに触れる。	
	E-タイム 3/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ・無理のない範囲で歌うよう促す。 ・ゆっくり→普通と速さを変え、目標表現や単語の音をしっかりと聞くことができるようにする。 ○Activity 「What’ s this?ゲーム」 ・イラストの一部やシルエットを見せ、何の食材かを当てる。	
第2時	E L 1/3	○Warm Up Song “What do you want?” “Vegetable song” ・1回目は聞かせ、2回目は言える部分を児童と一緒に口ずさむ Small talk 「フィリピン料理に入っている食材」 ○Today’ s Point 食材の名前を正しく聞き取ってあそぼう！	○記録に残す評価は行わない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動への動機づけを行う。 ・ALT との気分のやり取りの会話から自然な流れで行う。 <p>○Activity①「What' s this?ゲーム」を行う。</p> <p>A:What' s this? C: (It' s) ○○.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズをしながら、食材の言い方を確認する。 ・担任はタブレット操作を行う。 <p>○Activity②「ビンゴゲーム」を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は ALT が言う食材の名前を聞き取り、タブレット上でイラストを移動させる。最後に答え合わせをする。 ・できるようであれば、数名の児童にも食材を言ってもらう。 <p>○Activity③を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材カードを裏返して机に置く。 ・カードをめくり、書いてある食材の名前を英語で言う。 <p>○単元のゴールを示す。</p>	
第3時	E-タイム 4/15	<p>○Song “What do you want?” “Vegetable song”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発音が分かる部分は歌うよう促す。 <p>○Activity 「ビンゴゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の名前をしっかりと聞くよう声をかける。 	<p>【主】 欲しい食べ物について、話を聞いて、意味を分かろうとしている。</p> <p><観察></p>
	E-タイム 5/15	<p>○Song “What do you want?” “Vegetable song”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら歌うことができるようにする。 <p>○Activity 「ビンゴゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の名前をしっかりと聞くよう声をかける。 	
	E-タイム 6/15	<p>○Song “What do you want?” “Vegetable song”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら歌うことができるようにする。 <p>○Activity 「仲間分けゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の名前を確認しながら、「炭水化物」「タンパク質」「ビタミン（野菜）」に分類する。 	
第4時	E-タイム 7/15	<p>○Song “What do you want?” “Vegetable song”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら歌うことができるようにする。 <p>○「夢の Golden lunch menu」を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなメニューにするかを決め、それらに必要な主な食材を考える。 	
	E-タイム 8/15	<p>○Song “What do you want?” “Vegetable song”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら歌うことができるようにする。 <p>○Activity 「マッチング お好み焼きゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が食材を言い、正しいものをタブレット上で移動させる。 ・最後に答え合わせをする。 	<p>【知・技】 欲しい食べ物について、「What do you want?」を用いた表現を聞くことに慣れ</p>

			親しんでいる。 <観察>
	E-タイム 9/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ・楽しみながら歌うことができるようにする。 ○Activity「マッチングピザゲーム」 ・教師が食材を言い、正しいものをタブレット上で移動させる。 ・最後に答え合わせをする。	
第 5 時	E L 2/3 (本時)	※詳細は本時の展開 ○Warm Up Song “What do you want?” “Vegetable song” ・言えそうところは口ずさむよう促す。 Small talk「ALTの食べたい給食について」 ○Today’s point 「夢の Golden lunch menu」に必要な食材を集めよう！ ○Activity①を行う。 ・一人3枚食材カードを持つ。 ・相手が持っているカードの中から欲しいカードを言う。 ・ALTに「ラッキーカード」を3枚選んでもらう。 ○Activity②を行う。 ・グループに分かれ、「夢の Golden lunch menu」に必要な食材を集める。 ・活動の前後半が入れ替わる時に、手本となる児童を紹介し、会話活動の意欲を高める。	【思・判・表】 「夢の Golden lunch menu」を作るために、相手に伝わるよう工夫しながら、欲しい食材について、話を聞いて意味が分かっている。 <観察>
第 6 時	E-タイム 10/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○Activity「マッチングパフェゲーム」 ・教師が食材を言い、正しいものをタブレット上で移動させる。 ・最後に答え合わせをする。	【主】 欲しい食べ物について、話を聞いて、意味を分かろうとしている。 <観察>
	E-タイム 11/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○「夢の Golden lunch menu」を考える。 ・集めた食材で、どのような料理にするかを改めて考える。	
	E-タイム 12/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○This is me bookの作成 ・考えたメニューをイラストで描く。	
第 7 時	E-タイム 13/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○This is me bookの作成 ・考えたメニューをイラストで描く。	
	E-タイム 14/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○発表練習 ・モデルを提示し、児童が発表のイメージをもつことができるようにする。	
	E-タイム 15/15	○Song “What do you want?” “Vegetable song” ○発表練習 ・モデルを提示し、児童が発表のイメージをもつことができるようにする。	
第 8 時	EL 3/3	○Warm up Song “What do you want?”	

	<p>Small talk 「ALT の好きな給食メニュー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の発表のモデルとなるような話にする。 <p>○Today' s point</p> <p>「夢の Golden lunch menu」を紹介しよう。</p> <p>○Activity①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「This is me book」に描いた絵を見ながら、自分の考えた「夢の Golden lunch menu」を紹介する。 ・ 実際に食べたいと思ったメニューに投票する。 	
--	---	--

8 本時の展開

① E - タイム (第9回目)

目標： 欲しい食べ物について、What do you want?を用いた表現を聞くことに慣れ親しんでいる。

準備：タブレット端末 タブ

○展開

時間	○児童の活動	・ 指導者の活動	準備物
0.5分	○挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の準備を整えさせ、挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H: Let' s start our English lesson. Stand up. Good morning everyone. C: Good morning.</p> </div>	
1分	○ “What do you want?” を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌うことができそうな部分はしっかりと声を出すよう促す。 	大型TV
0.5分	○今日のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールとなる活動を行うことを伝え、目標をもって取り組めるようにする。 	
6.5分	<p>○教師が考えたオリジナルピザの材料を聞き取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師対児童全体 ・ 代表児童対児童全体 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の「What do you want?」からスタートする。 ・ 材料の写真を黒板に提示し、選択の参考になるようにする。 ・ 教師や児童が言った材料を聞き取り、タブレットのオクリンクのカードに材料を移動する。教師はモニター画面を使って児童がどの程度正確に聞き取ることができているか確認する。 	タブ 大型TV
6分	<p>○児童の考えたオリジナルピザを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童同士 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作りたいオリジナルピザをペアの児童とやり取りをしながら作る。 <p>◎欲しい食べ物について、What do you want?を用いた表現を聞くことに慣れ親しんでいる。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】 <観察></p>	タブ
0.5分	○振り返りと挨拶をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H: That' s all for today' s E-time. Everyone stand up. C: Thank you very much.</p> </div>	

②E - タイムL (第2回目)

目標：「夢の Golden lunch menu」を作るために欲しい食べ物について、話を聞いて意味が分かっている。

準備：タブレット端末 タブ 学習カード カード

○展開

時間	○児童の活動	・指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
0.5分	○挨拶をする。	<p>・学習の準備を整えさせ、挨拶をする。形だけにならないよう、丁寧に気持ちの良い挨拶を行う。</p> <p>H: Let's start our English lesson. Everyone stand up. Hello, everyone. C: Hello, Ms. Nakayama. Hello, Ms. Sonia. A: How are you today? C: I'm good, thank you. How about you? A: I'm good, too. Thank you. How is the weather today? . . .</p>	
4分	○“What do you want?”を歌う。	<p>・歌うことができそうな部分はしっかりと声を出すよう促す。</p>	タブ
5分	○Small Talkを聴く。	<p>・「What do you want?」と「I want ○○.」の表現に慣れ親しむことができるように、児童も交えて会話を進める。</p> <p>・会話の後に、どんな食材が出てきたか児童に聞く。</p> <p>・児童にもどんな食材を乗せたいか質問する。</p> <p>A: I'm very hungry. I want to eat school lunch. H: Oh, it's nice. What do you want? A: I want curry and rice. What do you want? H: I want Agepan. A: It sound good!</p>	
1分	○めあての確認をする。	<p>・ゴールとなる活動を行うことを伝え、意欲を高めさせる。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「夢の Golden lunch menu」の食材を集めよう！</div>			
9分	○Activity①「ラインゲーム」を行う。	<p>〈会話例〉</p> <p>C1, C2: Hello. C1: What do you want? C2: (I want) ○○. What do you want? C1: (I want) ○○. C1, C2: See you.</p> <p>①一人3枚の食材カードを持つ。 ②相手が持っているカードの中からほしいカードを言う。 ③時間になるまで会話を繰り返す。</p>	カード

25分	○Activity②「食材を集めよう」	<p>④ALTに「ラッキーカード」を3枚選んでもらう。</p> <p>〈会話例〉 C1、C2: Hello. C1: What do you want? C2: (I want) ○○. C1: Here you are. C2: Thank you. C1、C2: See you.</p> <p>①店員役とお客さん役に分かれ、会話をしながら各自が必要な食材を集める。 ②役割を入れ替え、同様の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を観察し、必要な場合は補助をする。また、言い方が難しい単語については活動後に取り上げ、全体で発音を確認する。 ・役割を交代する際に、手本となる児童を取り上げ、後半の活動の意欲づけをする。 ・児童の様子を観察し、必要があれば食材の言い方や会話表現の確認を行う。 ・前後半の活動が終わったら、集めた食材について、友達に紹介する。 <p>◎「夢の Golden lunch menu」を作るために欲しい食べ物について、話を聞いて意味が分かっている。 【思・判・表】<観察></p> <p>◎本時では、記録に残す評価は行わないが、授業全体を通して、身近な食材の英語での言い方や What do you want?を用いた表現を聞き取れているか、学習状況を把握する。<観察></p>	タブ
1分	○本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったことや分かったことについて、口頭で確認する。また、本時のめあてに対して、「Big circle (よくできた)」、「Circle (できた)」、「Triangle (もう少し)」を体で表し、短時間で自己評価と、次時の学習への意欲づけをできるようにする。 ・次時の学習内容を伝え、児童の意欲を高めて終わるようにする。 	

0.5 分	○挨拶をする。	<p>H: That's all for today's English lesson. Everyone stand up. Thank you very much.</p> <p>C: Thank you very much, Ms. Nakayama. Thank you very much, Ms. Sonia.</p>	
----------	---------	---	--